

■公共下水道整備事業債の状況

公共下水道事業の借入額とその残高

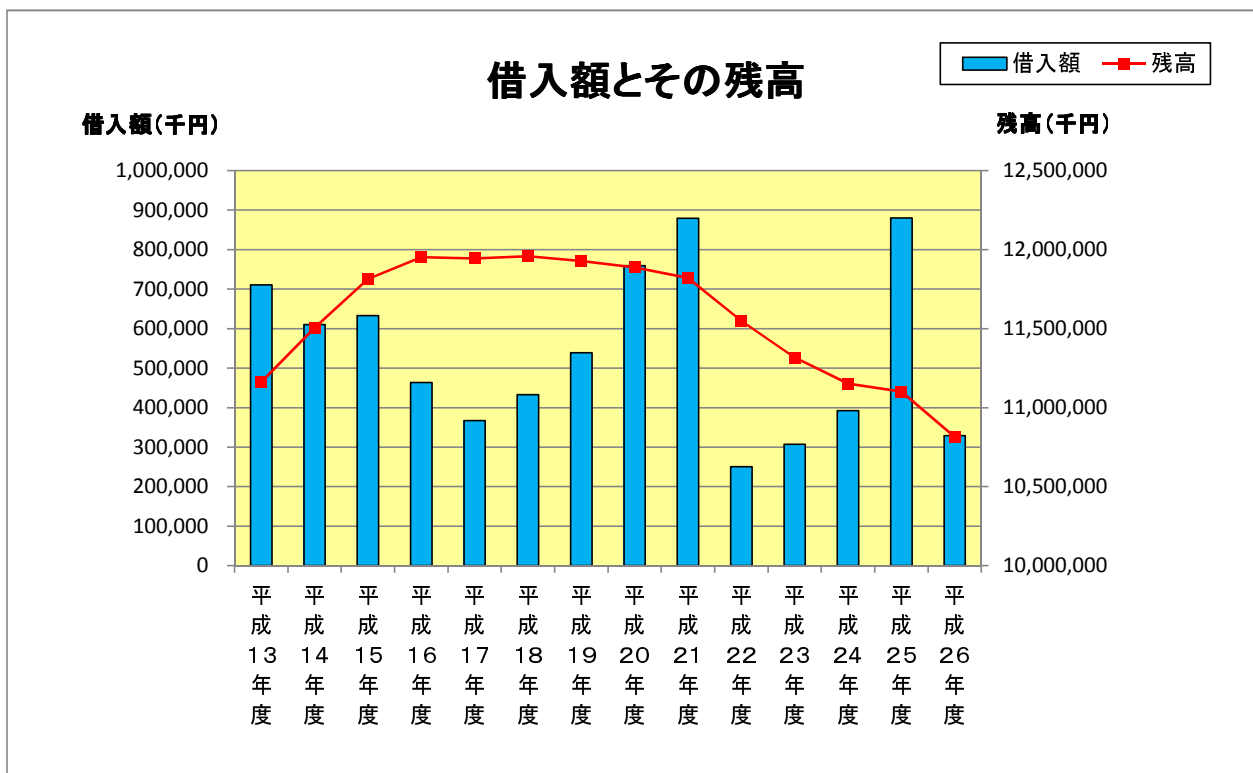
単位:千円

	借入額	残高
平成13年度	711,000	11,161,564
平成14年度	610,000	11,505,916
平成15年度	633,100	11,814,729
平成16年度	464,000	11,951,092
平成17年度	367,500	11,943,443
平成18年度	432,800	11,957,559
平成19年度	539,000	11,926,823
平成20年度	759,700	11,887,460
平成21年度	879,000	11,821,292
平成22年度	250,800	11,549,449
平成23年度	307,100	11,316,048
平成24年度	392,400	11,151,340
平成25年度	879,900	11,101,519
平成26年度	329,100	10,812,644
平成26年度末市全体の借入残高		53,682,936

公共下水道の整備には、一般に短期間に集中的な投資を要します。その建設財源の中で、国庫補助対象事業にあっては地方負担額の、地方単独事業にあっては事業費の大部分に、借入金(公共下水道整備事業債)が充てられています。

その元利償還は長期に渡ることから、現在の利用者だけでなく将来の利用者にも負担を分散させることにより、世代間の負担の公平を図ることができます。

借入額については、市の財政状況を踏まえ、事業を抑制し減少傾向にあります。借換債を利用し利子の抑制に努めているため、一時的に増加しています。その残高は、平成26年度末で108億1264万4千円と市全体の借入額の約20.1%を占めている状況にあります。



公共下水道整備事業債の返済額の推移

単位:千円

	返済額		
	元金	利子	元利金合計
平成13年度	216,798	340,669	557,467
平成14年度	265,648	346,863	612,511
平成15年度	324,287	340,485	664,772
平成16年度	327,637	344,205	671,842
平成17年度	375,149	342,217	717,366
平成18年度	418,684	338,275	756,959
平成19年度	569,736	333,388	903,124
平成20年度	799,063	323,179	1,122,242
平成21年度	945,168	299,999	1,245,167
平成22年度	522,643	273,681	796,324
平成23年度	540,501	265,682	806,183
平成24年度	557,108	256,609	813,717
平成25年度	929,721	240,683	1,170,404
平成26年度	617,975	227,534	845,509

公共下水道整備事業債はあくまでも借金であり、その返済額(元利償還費)の増加は財政を圧迫する要因となります。

元金、利子ともに増加してきましたが、これから元金はしばらく増加していき、借入額の抑制や借換債の活用により、利子は減少していくと見込まれています。しかし、元金、利子を合わせるとますます増加する見込みです。

平成26年度の返済額は元利合計で、8億4,550万9千円であり、返済額の増加は、一般会計からの繰入金(市税等)等で補填することとなり、市の財政へ少なからず影響を及ぼすこととなります。

